

えひめ 地域づくり協働体通信

第7号では、東温市の井内地区に誕生した古民家体験施設「井内の里 人空田（じんくうでん）」のプレオープン記念企画として開催されました井内と愛南町緑との広域連携による「海・山コラボダイニング」について、東温市集落支援員の森裕之さんにレポートいただいています。

皆さまの地域活動の参考にさせていただければ幸いです。

【東温市井内（いうち）地区】

キーワード：地域連携、交流人口拡大

●課題から見てきたもの

東温市の山間地域「井内地区」では、これまでに特産品開発や観光モニターツアーなどに取り組んだものの、期待したほどの成果がなかったばかりか、協力した地域住民は疲弊し、地域活動への参加意欲が低下していくという悪循環が生じていました。

この反省から、地域・行政・企業が一緒になって課題点を探ったところ、

- ① 地域に泊まる場所がないため、観光客の消費行動が起こらない
- ② 地域産品を重視するばかり、消費者視点の商品、サービス開発ができていない
- ③ マンパワーが足りていない

という問題点が浮かび上がりました。

そこで、井内地区の活性化をめざす住民団体「井内区人・空・棚田を生かす会」では、地域産品だけに目を向けた単なる「地の物 PR」ではなく、他地域の良いものと積極的に組み合わせ、より質の高いサービスとして顧客に提供することで、井内の「場」としてのブランド力を高め、観光・交流人口の拡大や移住促進に活かそうと考えました。その具体的取組として、地域おこしの縁で交流が始まった愛南町緑地域の住民団体「まるごと緑」と連携したプレミアム試食会&古民家宿泊体験プログラムを企画しました。

●いよいよ「海・山コラボダイニング」開催！

平成29年2月4日、築150年の空き家を改修した古民家体験施設「井内の里 人空田」がプレオープンし、当該施設の宿泊テストを兼ねた記念イベント「海・山コラボダイニング」を開催。すし米大賞（米・食味鑑定士協会主催）を受賞した「井内米」や愛南町の獲れたて魚介・極上柑橘など、東温市と愛南町の小さな集落に暮らす人たちが愛媛の海と山の食材を持ち寄って心を込めて料理し、参加者をもてなしました。



すし職人の方も愛南町から駆けつけてくれました！

当日は好天にも恵まれました！



●イベントを終えて感じたこと

今回のような遠隔地の住民組織が連携し、試行錯誤を重ねて手づくりで実施する「海・山連携」の交流体験プログラムは、愛媛県内でおそらく初の取組となります。これからも単なる目先の集客重視の観光ではなく、広域的にあらゆる主体を巻き込みながら移住・定住や販路拡大など息の長い取組につながる、新たな地域創生モデルの構築に取り組みます。また、人空田は今後、本格オープンに向けて地域内外の人々が集い、「顔の見える」交流が楽しめる拠点を目指します。移住希望者が宿泊し、ゆったりと「井内暮らし」を体験できるような環境整備も検討していきます。

【Facebook サイト】「井内の里 人空田 Jingu-den」

<https://www.facebook.com/umiyamacollabodining>

● 地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236

E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.jp

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200

E-mail: info@ecpr.or.jp